

アメリカ政府により、ビッグデータ活用に向けて、2億ドル以上の研究開発投資

～"Big Data Research and Development Initiative"を2012年3月29日に公表～
 科学技術政策局(OSTP)が本イニシアチブを作成、下記をはじめとする多くの機関がこの取組をサポート。

- ▶ 大容量のデジタルデータの収集、保存、蓄積、管理、分析及び共有のためのツールと技術の向上を図る。
- ▶ ビッグデータを利用して、理工学の研究の加速、安全保障の強化、教育及び学習の改革の実現を目指す。

国立科学財団(NSF)



- ☞ データインテリジェント育成のための大学でのプログラム。
- ☞ カリフォルニア大学での1,000万ドルのプログラム。
- ☞ 「Earth Cube」※プログラム支援のための助成金。
(※)地球科学者が地球に関する情報を利用、分析、共有できるシステム

エネルギー省



- ☞ 2,500万ドルかけて、「SDAV」(Scalable Data Management, Analysis and Visualization)という新たな研究機関を設立。

国立衛生研究所(NIH)



- ☞ 200プログラムにもよる1,000のプログラムプログラムのデータがクラウド上で自由に手に入る。

国防高等研究計画局(DARPA)



- ☞ 年間2,500万ドルを4年かけて投資する「XDATA program」を実施し、非構造データを含めたデータ解析プログラムを開発。

国防総省



- ☞ ビッグデータ新規研究プログラムに6,000万ドル投資。
- ☞ ビッグデータに関するコンペティションを開催。

地質調査所

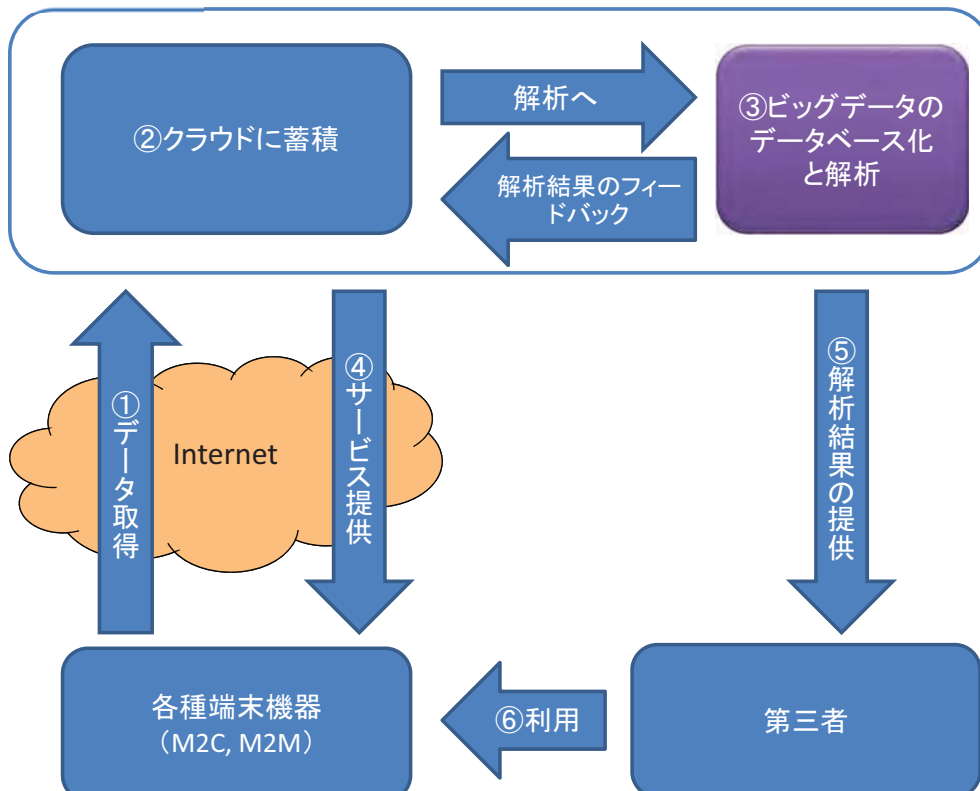


- ☞ 「John Wesley Powell Center」を提供することで、地球システム科学に関するビッグデータを分析等できる場を科学者に提供。

政府機関に加え、企業や大学、非営利組織にも、参加を呼びかけ

ビッグデータの活用に関する法的フレームワークについての検討

【想定モデル】



【出典：岡村構成員説明資料（第3回）】